

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念は回覧文書で毎週確認するも、事業所理念においては特段確認がされていない。	事業所理念の実践について、振り返る機会を設ける場を作る。	「地域の中で自分らしく生きていけるように支援する」という事を、常に念頭におけるように毎月の会議で読み合わせと取り組みを議題とし検討していく。	6ヶ月
2	2	近隣の地域資源を活用しきれていないので、豊富にある資源をいかに活用していくか	近隣の地域資源が豊富にあるので、積極的に地域交流に活用していく	コンビニエンスストア等との交流・連携を図るほか、自治会行事(浜松祭りや敬老会等)にも積極的に参加していく。	12ヶ月
3	10	家族様の運営推進会議への出席がない事をはじめ、関わりの薄さに課題がある。	内科医療に家族が立ち会う機会がない事もあり、1ヶ月の状態、様子をお知らせする仕組みがあると良い。	1ヶ月単位でご利用者様の様子(健康・状態等)をお知らせする便りを個別に作成し、お渡しする仕組みをつくる。	6ヶ月
4	36	やや声が大きかったり、利用者への配慮が足りなかったりの場面がみられた。	尊重に欠ける押れあいの言葉があったりする場面もあった為、振り返りの機会を持つ。	虐待防止と同様に職員同士で注意し合える風通しの良い環境作りと、定例会(月1回)で職員同士の意見を交換する場を持ち振り返りを行う。	2ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。